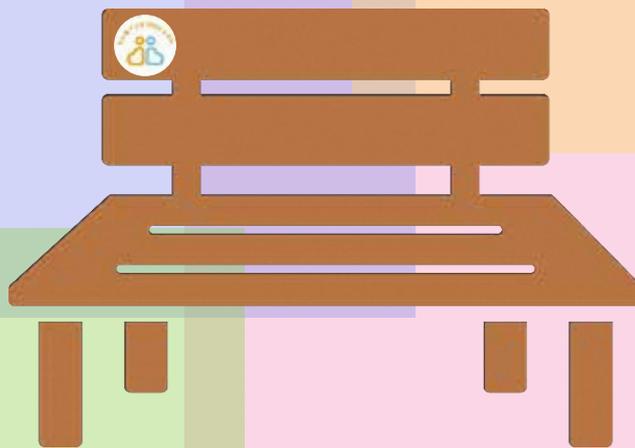


2024



**Toshima
Bench Project**



目次

としまベンチプロジェクト

01 としまベンチプロジェクトとは	3
02 としまベンチプロジェクトで目指す3つのまち	4
03 としまベンチプロジェクト4つの柱	4
04 プロジェクトによるベンチ新規設置場所一覧	5
05 プロジェクトによるベンチ改修場所一覧	6
06 ベンチMAP	7

ベンチづくりプロジェクト

01 としまベンチプロジェクト×区民ひろば	9
02 わくわく！イスづくりワークショップ	10
03 ワークショップの様子	11

ベンチ協賛プロジェクト

01 としまベンチプロジェクト協賛企業	13
02 協賛プロジェクトの実績	14

ベンチ設置プロジェクト

01 ベンチ設置プロジェクト	17
02 設置までの取り組み	18
03 設置場所の調査・検討	18
04 設置場所の紹介	20

ベンチ改修プロジェクト

01 ベンチ改修プロジェクト	25
02 改修場所の紹介	25

としまベンチプロジェクト まとめ	29
------------------	----



01 としまベンチプロジェクトとは

令和5年度から、区で実現してほしい事業の提案を募集する「区民による事業提案制度」を実施しました。これは予算編成過程に区民一人ひとりの声を直接反映させることで、従来の発想にとらわれない新たな視点から区政課題の解決を図るとともに、区民による区政参画をさらに進めることを目的に始まったものです。令和5年度は200件を超える事業提案をいただき、その中から10件を選定、区民の皆さまによる投票を経て6つの提案が事業化しました。

「としまベンチプロジェクト」はそのうちのひとつで、「高齢者等が、住み慣れた地域で自分らしく住み続けられるよう環境整備を推し進めるため、まちなかに誰でも座れるベンチを設置し、高齢者の外出や移動を支援する」ことを目的にしています。



- ・まちなかに誰でも座れるベンチを設置し、人々の移動や交流を支援してほしい
- ・民間企業の地域貢献によりベンチを制作、設置希望者へ譲渡してほしい



- ✓ 高齢者や障がい者など誰もが安心してまち歩きを楽しめるようにまちなかにベンチを設置
- ✓ 町会や民生委員・児童委員、民間企業等との連携により、ベンチを必要とする場所の調査・設置

高齢になっても、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らし続けるためには、通院や日常の買い物などに伴う「外出・移動」が欠かせません。近所にバスの路線がない地域や自宅から最寄り駅までが遠い地域に住んでいる方も多くいらっしゃいます。さらに、本区では高齢者の一人暮らし世帯の割合が非常に高く、家族などの身近な人に気軽に送迎を頼めないケースも少なくありません。そのような外出や移動を困難に感じている方の「道中少し座って休憩ができれば…」というお声に応えるべく、ベンチの設置を行いました。

02 としまベンチプロジェクトで目指す3つのまち

出かけたくなるまち

休む場所があることで、まちに人が増え、自然とコミュニケーションも広がります。さらに地域の防犯や見守りなどの効果も期待できます。

いつまでも 自分の足で歩けるまち

長い道りを歩くのが困難な高齢者なども、ベンチで休むことができると、自分の足で歩ける範囲が広がります。

つながりのあるまち

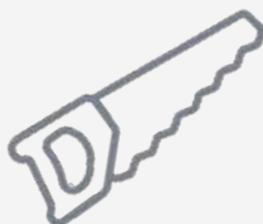
地域の住民や関係機関、お店、企業、行政等が協力してベンチを設置することで、つながりが深まり、誰もが住みやすいまちになります。

03 としまベンチプロジェクト4つの柱

「としまベンチプロジェクト」では、以下の4つのプロジェクトを柱として取り組みました。

ベンチづくりプロジェクト

地域の皆さんと
一体となって
ベンチをつくる
プロジェクト



ベンチ協賛プロジェクト

区内企業と
連携して
取り組む
プロジェクト



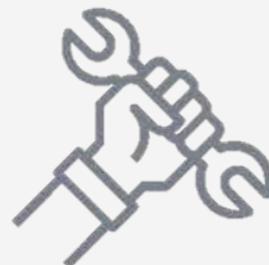
ベンチ設置プロジェクト

地域の皆さんの
「あったらいい
な」を実現する
プロジェクト



ベンチ改修プロジェクト

老朽化した
ベンチを
復活させる
プロジェクト



04 プロジェクトによるベンチ新規設置場所一覧

地域	設置場所	住所
北地域	豊島清掃事務所	池袋本町1-7-3
	美容室紡場	池袋本町1-24-8
	北池薬局	池袋本町1-45-16
	特別養護老人ホーム東池袋桑の実園	東池袋5-39-18
東地域	医療法人社団幸和会 やまとむら歯科	巣鴨1-4-18
	巣鴨2丁目歩道	巣鴨2-7先
	めぐみ薬局	巣鴨4-9-5
	医療法人社団幸和会 駒一クリニック	駒込1-4-1
	医療法人社団幸和会 幸和クリニック	駒込6-34-7
	イトーフラワー	北大塚1-33-25
	渋谷歯科医院	北大塚2-32-21
西地域	個人宅	千早1丁目
	西部区民事務所	千早2-39-16
	粟島神社	要町2-14-4
	チチブ薬局	長崎1-5-1
	巣鴨信用金庫 椎名町支店	長崎1-20-8
	特別養護老人ホームアトリエ村	長崎4-23-1
	長崎調剤薬局	長崎4-30-2
	ラ ヴィ アンサンブル	南長崎5-17-12
	ハウステーション東長崎店	南長崎5-17-14
	喫茶店まあさ	南長崎5-17-15
	ヒバリ薬局	南長崎5-26-2
	ミロクの里鍼灸院	南長崎5-27-12
南地域	個人宅	西池袋2丁目
	西池袋のおうちパンやIZUMI	西池袋3-6-22
	南池袋訪問看護ステーション	南池袋3-4-2
	南池袋介護老人保健施設アバンセ	南池袋4-6-1
	個人宅	雑司が谷1丁目
	区民ひろば26施設	

05 プロジェクトによるベンチ改修場所一覧

地域	設置場所	住所
北地域	NPO法人ぶどうの木	池袋本町3-1-10
	本町ホール	池袋本町4-16-6
	東池袋フレイル対策センター	東池袋2-38-10
東地域	特別養護老人ホーム菊かおる園	西巣鴨2-30-19
	粹庵	巣鴨4-34-1
西地域	ケアフレンド豊島	長崎2-4-9

このほかにも、既存ベンチにステッカーを貼る取り組みも進めました。既にベンチを設置いただいている方へ、本プロジェクトの目的をご説明し賛同いただけた場合に、としまベンチプロジェクトのステッカーを貼らせていただきました。ステッカーを貼ることによって「座ってもいいのかな？」と迷ってしまうベンチも、誰でも座れるみんなのベンチに生まれ変わります。

ご協力いただいた設置者の皆さまありがとうございました。

コラム 知ってほしい！主なベンチの効用4つ

歩行距離UP！

ベンチは身体を休ませること以上に、まちの中で立ち止まり、過ごし、思考する時間を与えることで、人々の次の行動に大きく影響します。何よりもベンチで休むことで人々はより長い距離を歩くことができます。

滞在時間UP！

ベンチは無料でそこに居ることができる最小のインフラです。ベンチがあることで、人々のまちにおける滞在時間がより長くなります。人がまちに居る時間が長くなることは、さまざまな二次的効果へとつながります。

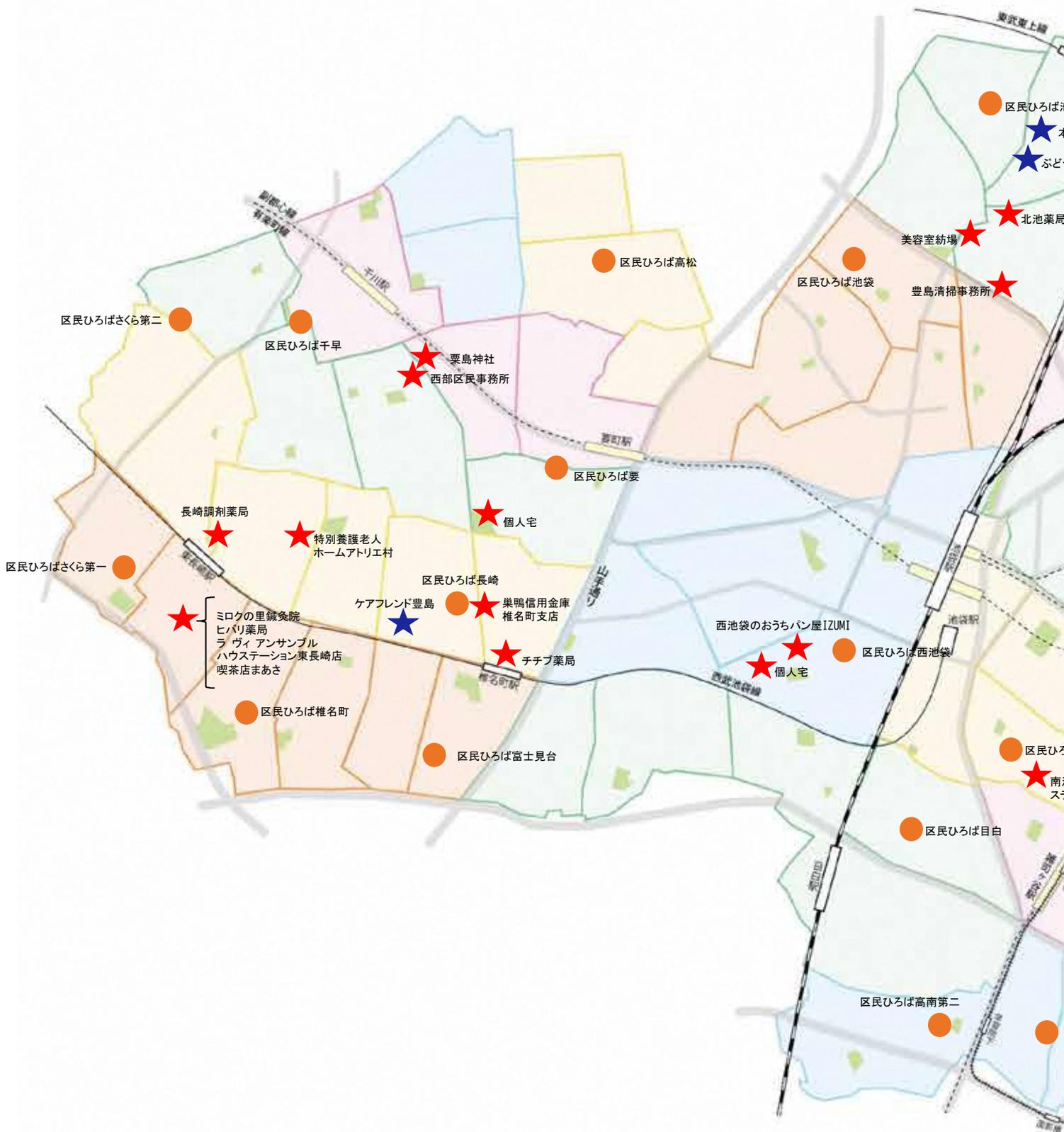
経済効果UP！

まちに居る時間が長くなること、行動範囲が広がることは、まちにおける消費へとつながります。よりお金が落ちていくということは、より人の賑わいがそこに生まれ、人をさらに呼び込むことになります。

幸福感UP！

まちに滞在する時間が増えるということは、人と人が出会う確率が高くなり、人々の会話量が増えます。コミュニケーションの増加は、人々の健康状態、そして幸福度を向上させていきます。

06 ベンチMAP





- ★ ... 新規設置場所 全28か所
- ★ ... 修理・取替場所 全6か所
- ... 区民ひろば 全26か所



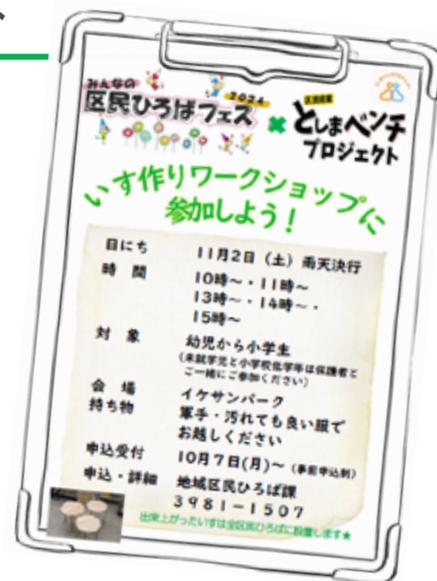
ベンチづくりプロジェクト

01 としまベンチプロジェクト×区民ひろば

「ベンチづくりプロジェクト」は、地域の皆さんと一体となってベンチづくりに取り組むプロジェクトです。

本プロジェクトでは、11月2日(土)としまみどりの防災公園イケ・サンパークにて開催された「みんなの区民ひろばフェス」とのコラボレーション企画で、コクヨ株式会社さまのご協力のもとイスをつくるイベントを開催しました。

イベント当日の天候はあいにく雨でしたが、多くの子どもたちが参加し、素敵なイスがたくさん完成しました。完成したイスは区民ひろば全26施設に設置しています。



「コクヨ株式会社」さまにご協力いただきました！

< ご担当者よりメッセージ >

弊社は、誰もが生き活きと働き、暮らし、つながりあう「自律協働社会」の実現を掲げ、「働く」「学ぶ・暮らす」に寄り添った文具や家具だけにとらわれない豊かな生き方を創造する企業となることを目指しています。

今回のベンチプロジェクトでは、職員さんや区民の方々との協働ワークショップにより、26脚の異なるデザインのイスを完成させることができました。

区民ひろばにお立ち寄りの際は、是非イスを見つけ、それぞれののちがいを感じていただけると嬉しいです。ご協力いただいた職員の皆さん・区民の方々、ありがとうございました！

02 わくわく！イスづくりワークショップ



Step1 デザイン

EMARFというソフトで座面の形状をデザインします。EMARFでは、座面の直径や角の形状の設定が可能なほか、ランダムな座面形状を手軽に作成することができます。



Step2 切り出し

ShopBotを用いて補助員が座面を切り出します。切り出し作業は1枚あたりわずか2分ほどで終わります。座面は厚さ3cmほどの木の板を用います。



Step3 やすりがけ

軍手を着用して、Step2 で切り出した座面のやすりがけをします。特に切断面はざらつきがあるため、念入りにやすりで磨いてなめらかにしていきます。



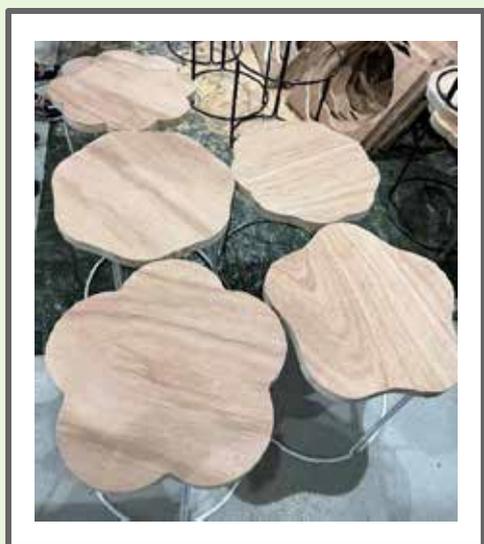
Step4 組み立て

ネジで脚部分を座面に固定してイスにします。取り付け後、座面にとしまベンチプロジェクトのステッカーを貼り付けます。



Finish!! 完成

03 ワークショップの様子







ベンチ協賛プロジェクト

01 としまベンチプロジェクト協賛企業

「ベンチ協賛プロジェクト」は、地元の企業にご協力いただき、民間企業ならではのアイデアや技術を活かして官民一体となって取り組むプロジェクトです。ベンチ協賛プロジェクトでは、ベンチづくりに協力できる企業、ロゴ制作に協力できる企業など、ベンチに関するご協力をいただける企業を募集しました。

ホームページや広報としまでの募集のほか、6月17日に開催された、共創により豊島区をよりよくしていく組織・産官学連携コンソーシアムである「チームとしま」の全体会議にてプロジェクトの周知をしました。周知の結果、3つの企業とつながり、本プロジェクトに多大なるご協力をいただきました。協賛いただいた企業の皆さま誠にありがとうございました。



※順不同・敬省略



マーブルデザイン株式会社



西武池袋本店



武蔵塗料株式会社

02 協賛プロジェクトの実績

マーブルデザイン株式会社さま

プロジェクトのロゴを制作いただきました！



マーブルデザイン株式会社さまは、南池袋公園の目の前にあるWEB制作会社で、“お客様の「やりたい」という想いを「カタチ」にする”ことをミッションに掲げ、システム開発やホームページ制作などをされています。

「チームとしま」でつながり、本プロジェクトのロゴを制作いただけることになりました。

としまベンチプロジェクトロゴ



人と人が背中合わせで座っている様子を表現しており、「安心感」「親しみやすさ」を表現するため曲線を強調しています。また、人の胴体の部分が“Bench（ベンチ）”のBの形をしています。カラーユニバーサルデザインに基づき、色は、視力が弱い方や色覚異常がある方にも判別しやすい配色となっています。オレンジは、親しみやすさ、暖かさ、愛、絆を表し、水色は安全性、清潔さを表しています。

としまテレビにご出演いただきました！



ディレクターを担当した沼田さん

人々が背中合わせでベンチに座りゆっくり過ごしている場面をイメージして制作しました。

このプロジェクトを通じて、知らない人同士でも安心して集まれる、憩いの場が増えてほしいという想いを込めています。



デザインを担当した中村さん

西武池袋本店さま



椅子をご寄付いただきました！

西武池袋本店さまより、使用しなくなった椅子を再利用できないかとご提案いただき、ベンチプロジェクトにて活用させていただくことになりました。どれもまだまだ綺麗で丈夫な椅子。背もたれもあり、ちょっと腰掛けるにはちょうど良いサイズです。

「SDGs未来都市豊島区」としても、たいへんありがたいご提案でした。

16脚の素敵な椅子を設置しました！

西武池袋本店さまより合計16脚の椅子をいただき、設置場所を検討しました。ベンチと違ってコンパクトサイズの椅子は、大きなスペースがなくても設置することができます。さらに一人でも持ち運び可能な重量のため、出し入れも簡単です。

設置場所を探した結果、薬局や美容室などに設置いただけることになりました。

実際に設置した様子は、ベンチ設置プロジェクト(20ページ)やベンチ改修プロジェクト(26ページ)にて紹介しています。また、公園緑地課にて、公園への設置も行いました。よく公園になじんでいます ✨



塗装前の椅子



染井よしの桜の里公園

<西武池袋本店さまよりメッセージ>

公園や広場などまちなかにちょっと休める場所が増えれば、安心してすごせるまち、ウォーカブルなまちにつながると思います。お一人でもグループでも、お子様連れにも気軽にご利用いただければと思います。

武蔵塗料株式会社 さま



椅子塗装用の塗料を提供いただきました！



豊島区役所本庁舎のすぐ近くに位置する武蔵塗料さまより、ベンチ改修のための塗料をご提供いただきました。チームとしまの粋組みの中でベンチプロジェクトを知り、何かできないかを模索して下さった結果、今回の塗料のご提供が実現しました。

塗装イベント in 高田介護予防センター



汚れ除去



やすりがけ



下塗り・乾燥



塗装



完成

9月20日(金)、西武池袋本店さまよりいただいた椅子16脚を、武蔵塗料さまより提供していただいた塗料で塗り直す「塗装イベント」を開催しました。ちょうど改修工事前で閉鎖していた“高田介護予防センター”。「いくら汚しても大丈夫！」ということで、高田介護予防センターを借りて実施しました。当日は、武蔵塗料株式会社の牧田さんにご指導いただきながら、区民ボランティアの方の協力のもと椅子の塗装を行いました。

武蔵塗料はSDGs活動の一環として廃棄物ゼロを目指し、アップサイクルを推進しています。

チームとしま・ベンチプロジェクトと協力し、同じ目標に向けて活動しています。



武蔵塗料株式会社 牧田さん



ベンチ設置プロジェクト

01 ベンチ設置プロジェクト

「ベンチ設置プロジェクト」は、地域の皆様のご協力のもと、まちなかにベンチを設置するプロジェクトです。

ベンチ設置プロジェクトでは、コミュニティソーシャルワーカー(以下「CSW」という。)や高齢者の生活支援推進員(以下「生活支援コーディネーター」という。)等の関係者とともに設置場所の調査に取り組みました。また、地域団体の皆さんとベンチに関する意見交換を実施し、設置場所の検討及びベンチ設置に関する課題の共有を行いました。ご協力いただいた地域団体の皆さん、誠にありがとうございました。

さらに「ベンチ設置プロジェクト」では、ベンチ設置場所に関する情報提供や、ベンチの維持管理等、区とともにベンチプロジェクトに取り組む有志「ベンチ協力隊」を区民の皆さんより募集しました。募集の結果、多くの区民の方に多大なるご協力をいただきました。



「生活支援コーディネーター」とは？

生活支援コーディネーターは、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域のささえあいの体制づくりを推進する役割を担っています。豊島区には8か所の高齢者総合相談センターがあり、各高齢者総合相談センター圏域に1名の生活支援コーディネーターを配置しています。地域の高齢者とのつながりが強い生活支援コーディネーターの協力のもと、ベンチの設置場所調査に取り組みました！

02 設置までの取り組み

広報

広報としまへの記事の掲載、町会へのご説明など広く区民の皆さんに本プロジェクトの概要を周知しました。また、ベンチ協力隊の募集や設置場所に関する情報提供のご協力を呼びかけました。

調査

CSWや生活支援コーディネーターとまち歩きを実施し、設置場所の調査に取り組みました。さらに、地域団体の皆さんにご協力いただき設置場所に関する情報を集めました。

検討

調査で見つかった設置場所の候補について、ベンチ設置の必要性は高いか、実現可能性があるか検討しました。民有地においては、所有者と設置について交渉を行いました。

設置

設置場所に合う形状・大きさのベンチを購入しました。民有地に置くベンチは、土地・建物の所有者へベンチを譲渡し、維持管理を依頼しました。設置後、本プロジェクトのステッカーを貼りました。

03 設置場所の調査・検討

まち歩き



6月末から7月上旬にかけて、第1層生活支援コーディネーター、第2層生活支援コーディネーター、CSW等の区内をよく知る関係者とともに、まち歩きを実施しました。まち歩きでは、どこにベンチが必要か、古くなっているベンチはないか調査を行いました。

暑い時期かつ雨の時期だったため、熱中症予防と雨対策をしっかりと行ったうえでまち歩きに臨みました。時には大雨に降られることもありましたが、歩いているからこそ「そろそろ疲れた、座って休憩したいな」という場所が見つかります。見つけた設置候補場所の中から、設置可能性及び必要性を吟味しました。

生活支援2層圏域定例会



豊島区医師会圏域定例会

月に1回程度、高齢者総合相談センター圏域ごとに地域課題や地域資源について話し合う定例会を、生活支援コーディネーターの主催にて開催しています。地域に詳しい高齢者総合相談センターの見守り担当やCSWよりベンチの設置場所の候補を聞き取りました。区や生活支援コーディネーターが手分けをして見つけた候補先のお店や施設等に設置の交渉を行いました。

地域のささえあいの仕組みづくり協議会

「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」は、民生・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、学識経験者、介護事業者などの関係者からなる協議体で、ささえあいの仕組みづくりについて話し合い、取り組む場です。協議会で実施したグループワークでベンチについて話し合い、「地域をまき込み、地域全体でベンチを大切にしていこう」という前向きな意見がでました。



発表の様子

池袋エリアプラットフォーム



ディスカッションの様子

「池袋エリアプラットフォーム」は、区や、民間企業・各種団体・大学など、池袋で活躍する多様な主体が連携・協働し、池袋駅周辺地域のまちの魅力や価値を向上していく組織です。

ウォーカブルなまちづくりの推進に向けて活用可能な空間を把握するために実施したフィールドスタディ調査へ、ベンチプロジェクトメンバーも参加し設置場所を探しました。

04 設置場所の紹介

北地域

豊島清掃事務所

豊島清掃事務所は、ごみの収集・運搬等を行う施設です。ここには白くて大きな3人掛けのベンチを設置しました。

川越街道沿いにある施設で、近くにはバス停もあり、バス待ちで少し休憩するにはもってこいです。シルバー人材センターの方もこちらのベンチをよく利用されているそうです。



北池薬局

協賛プロジェクトでいただいた椅子を2脚、池袋本町1丁目にある北池薬局さんに設置させていただきました。看板のグリーンとマッチしていていい感じです♪

東池袋桑の実園

特別養護老人ホーム東池袋桑の実園さんのご協力により、敷地内に常設型のベンチを設置しました。春日通り沿いで歩道は長い直線、すぐ近くには横断歩道もあります。歩くのに少し疲れたとき、横断歩道を待つときに休憩することができます。歩道に面した場所に設置しているので気軽に座ってみてください♪



東地域

萬劇場

地域の方から「折戸通りには休む場所がない」というお声を何度もいただきました。しかし、道幅が狭い折戸通りには歩道にベンチを設置することができない… どこか私有地で置いていただけそうな場所はないか探していたところ、萬劇場さんが快く設置にご協力くださいました。劇場の敷地内「渋谷歯科医院」さんの前に設置しています！



駒一クリニック

医療法人社団幸和会さんのご協力で、3か所にベンチを設置しました。駒一クリニックのほかにも、巣鴨の「やまとむら歯科」や駒込の「幸和クリニック」にも新規でベンチを設置しています。駒込地域は特に坂が多く、ベンチで休めると嬉しいです。



巣鴨駅 ⇄ 駒込駅

地域団体の皆さんと意見交換をした際、「巣鴨駅と駒込駅の間は歩く機会が多いが、途中で休めるところがなく疲れてしまう」といったお声がありました。実際に歩いてみると、人通りも多くベンチの需要がありそう！そこで、道路整備課の協力のもと、常設型のサポートベンチを歩道に設置しました。スマートでカッコイイベンチです ✨



西地域

特別養護老人ホームアトリエ村

< 設置者の声 >

以前よりエントランスに設置されているオブジェの台座に座っている高齢者を見かけていました。お尻が半分しか乗らないのでバランスが悪く危なかったです。ベンチがあればしっかりと座って休めるとの思いで、としまベンチプロジェクトに応募しました。ベンチの設置場所は夏場日陰になる場所を選びました。高齢者が外出を続けられるようベンチを上手に利用してもらいたいです。



巣鴨信用金庫椎名町支店



巣鴨信用金庫さんのご協力により、常設型のベンチを設置しました！暑い中、ベンチの組み立て作業もお手伝いいただきました。巣鴨信用金庫の皆さま、誠にありがとうございました♪

西部区民事務所

住宅街の中にある西部区民事務所に設置しました。同建物内には高齢者総合相談センターも入っているため、訪れる高齢者によく利用されています。



南地域

南池袋訪問看護ステーション



< 設置者の声 >

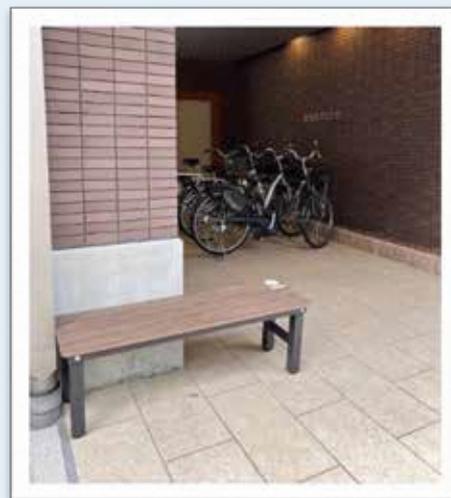
民生委員の方より紹介を受け、このプロジェクトを知りました。近くのグループホームの方が事務所の前をよく散歩しており、休む場所があったらいいなどかねてより思っていました。

ベンチを置くことができてよかったです。

南池袋介護老人保健施設アバンセ

南池袋にある介護老人保健施設アバンセのご協力により、敷地内にベンチを設置しました。

アバンセでは、高齢者の外出や交流を目的とした「野菜販売」を行うなど、地域に密着した活動が展開されています。都電沿いに位置し、すぐ近くには踏切もあります。外出時ひと休みしたいときなど、是非気軽に座ってみてください。



西池袋のおうちパンやIZUMI

広報としまへの掲載記事で本プロジェクトを知り、是非協力したいと店主の方よりお電話いただきました。店主の方のご希望により、カッコイイ黒のベンチを設置しました ✨

近くにお住まいの方からも「近くに杖をついた高齢者がいるから是非うちに置いてほしい」とのお声をいただき同じ種類のベンチを設置しています。





「IKEBUKURO LIVING LOOP」とは、豊島区池袋の玄関口である池袋駅東口のグリーン大通りを活用しながら、まち全体に人の回遊やネイバーフッドコミュニティを広げていくプロジェクトです。（主催：グリーン大通りエリアマネジメント協議会(GAM)／共催：豊島区／企画運営：nest・グリップセカンド・サンシャインシティ・良品計画）

プロジェクトの一環として、2024年10月11日(金)から2025年3月31日(月)まで

の期間、グリーン大通りの北側歩道3か所に、ベンチなどのストリートファニチャーを設置するプログラム「IKEBUKURO PUBLIC FURNITURE TRIAL×IKEBUKURO LIVING LOOP」を池袋エリアプラットフォームと連携して実施しています。

豊島区では、としまベンチプロジェクトをはじめ、さまざまな取り組みによりベンチ設置を進め、「でかけたくなるまち」、「にぎわいのあるまち」を目指しています。





ベンチ改修プロジェクト

01 ベンチ改修プロジェクト

「ベンチ改修プロジェクト」は、老朽化したベンチの修繕や取替を行うプロジェクトです。まち歩きから得た情報や、関係各所から寄せられた古いベンチの情報をもとに現地を視察し、改修が必要と思われるベンチの改修を行いました。合計で6か所の修繕・取替を行い、古くてあまり活用されていなかったベンチが復活しました。

02 改修場所の紹介

巣鴨地藏通り粹庵

Before



After



ぶどうの木

NPO法人ぶどうの木さんの前に「誰でもベンチ」として設置されている椅子が老朽化していたため、協賛プロジェクトでいただいた椅子に交換しました。明るいグリーンで塗った可愛い椅子です。

近くを通った際は是非腰掛けてみてください😊



ケアフレンド豊島

長崎にある介護事業所「ケアフレンド豊島」さんの前に設置している2人掛けベンチを新しいベンチに交換しました。訪れる高齢者がよく利用されています。設置に何うと中で長生きの亀さんが出迎えてくれました。

東池袋フレイル対策センター

Before



After



東池袋フレイル対策センターは、健康寿命の延伸を目的としてフレイル対策に取り組む多機能型の介護予防センターです。玄関に置かれていた椅子が老朽化していたため、協賛プロジェクトでいただいた椅子に交換しました。鮮やかな色の塗料で塗られた椅子なので、明るい雰囲気になりました！フレイル対策センターに訪れる方がよく利用しています。

特別養護老人ホーム菊かおる園



菊かおる園高齢者総合相談センター圏域で生活支援コーディネーターをしている近藤です。菊かおる園は、庚申塚駅をおりて徒歩2分ほどのところにある高齢者施設です。向かいには、西巣鴨幼稚園と子どものための区民ひろば西巣鴨第二があります。菊かおる園と幼稚園・区民ひろばとの間の小さな広場にあるサークルベンチは、老朽化が目立ち、色も暗いせいかあまり活用されていないように感じていました。また、ベンチの木の部分は所々ひび割れており、高齢者や子どもが触れてケガをしたら危ない💧 このベンチが明るく安全なものになれば、子どもが集まり、高齢者がひと休みできる素敵な場所になるのではないかという思いから「としまベンチプロジェクト」の中の改修プロジェクトで修繕ができないか区の担当者に相談しました。

作業の様子に密着！

1



屋外で汚れがひどいため、高圧洗浄で汚れを落とします。木の裏までペンキを塗れるよう、ネジで固定されている木の板をひとつずつ外します。

2



下塗り、中塗り、上塗りと合計で3回ペンキを塗っていきます。木の板の色は、周囲に溶け込むように、茶色を選択しました。

3



フレーム部分も同様に3回の塗装を行います。既存の暗いイメージを払拭するために、明るい色を選択しました。乾いて木の板を戻したら完成。



古かったベンチが修繕によって生まれ変わりました。明るい色で塗装したことにより暗いイメージが払拭され、明るくみんなが集う憩いの場となりました。区民ひろばの目の前にあるため、区民ひろばを利用する親子にも利用いただいています。

としまベンチプロジェクトまとめ

ベンチを通してできたつながり（生活支援コーディネーター 荒井さん）



左:荒井さん
右:「喫茶店まあさ」店長

ベンチプロジェクトが始まり、これは生活支援コーディネーターとして商店街や地域の方とつながるチャンスだと思いました。ベンチ設置場所を探していると、今までただ通り過ぎていた商店街に、魅力的なお店やベンチが置ける空きスペースがたくさんあることを発見しました。その中でも「喫茶店まあさ」は高齢者の方の憩いの場所でした。ご主人に空きスペースにベンチを置かせてほしいとお願いすると快く引き受けてくださり、今では「喫茶店まあさ」はベンチとともに私のほっと一息つける安らぎの場所となっています。

今回、ベンチプロジェクトのまち歩きを通して、地域の方が温かく見守り、支え、お互い協力し地域を盛り上げている様子を知ることができました。

誰もがゆっくり休み、大人も子どももコミュニケーションをとりながらくつろげる場所となり、互いに支え合う優しいまちになってほしいと思っています。

ベンチプロジェクトのこれから（高齢者福祉課長 今井 有里）



今回のとしまベンチプロジェクトでは、生活支援コーディネーター、CSWをはじめ、区民の皆さま、区内の企業、事業所等多くの関係者の皆さまのご協力を得て進めることができました。あらためて、厚く御礼申し上げます。

このプロジェクトは、ベンチを設置するだけでなく、ベンチを通じて、高齢者等の外出支援のほか、地域のつながりを生み、コミュニティの活性化につながることを目指しています。ベンチ協力隊や協賛企業の募集など、反響があるのかどうか、心配もありましたが、実際には多くの皆さまに協力いただき、この事業への期待と可能性を感じることができました。これからは、今年度設置したベンチや椅子が地域の日常に溶け込み、なくてはならないものとなるような取組みを継続的に進めてまいります。引き続き皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

ベンチプロジェクトと高齢者に優しいまちづくり（ベンチ協力隊 加藤さん）

最近、街中のベンチの撤去やベンチが設置されていても使用禁止となっているのが気になっていました。多分「コロナ感染対策」ではと思いましたが、「ゴミの放置」「深夜の飲酒による大声」等利用者のマナーによると聞いて心を痛めておりました。

そうした中、豊島区の「区民による事業提案制度」で「としまベンチプロジェクト」が採択されたと聞き、早速「中仙道サロン」に参加する高齢者の皆さんにプロジェクトに対する要望を伺ったところ、真夏の時期でもあったことから「50m毎に欲しい」「座れなくてもいいから寄りかかる程度のベンチでいい」等切実な要望が出されました。こうした要望を受け、プロジェクト担当の方々の努力と多くの区民の皆さんや協賛企業のご協力により巣鴨地区では折戸通りに2か所、巣鴨・駒込駅間の線路沿いに1か所に設置が実現できました。利用者のマナーについての課題は残りましたが、今回高齢者の一人として事業に参加させていただいたのを機に、今後も「高齢者に優しいまちづくり」のお手伝いをできればと思っています。



みんなのベンチ、みんなで大切に（ベンチプロジェクト担当）

約1年間にわたりベンチプロジェクトを担当しました。ゼロからスタートしたこのプロジェクト、設置場所調査のための暑い時期のまち歩きや設置場所の交渉、ベンチの組み立てや運搬など、前例がないプロジェクトだけに大変に感じることも苦勞することがたくさんありました。しかし、プロジェクトを進めていく中で「このプロジェクトに携われてよかった」と思う新たな気づきや発見も多くありました。

たくさん豊島区を歩き回ったからこそ、区の魅力をあらためて知ることができ、またベンチ設置にあたり、まちの人々の温かさにも多く触れることができました。「近くに杖をついた高齢者がいるから是非うちに置いてほしい」、「掃除は任せて」そんなまちの優しさを肌で感じることができ、普段の業務では味わえない経験をさせていただきました。区民の皆さまの想いがたくさんつまったみんなのベンチ、これからもみんなで大切に使いましょうと願っています。





編集・発行

令和7年2月

豊島区福祉部高齢者福祉課

住所 豊島区南池袋2-45-1

電話 03-4566-2435



SDGs未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。